



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>

令和元年9月30日

10月号

横浜市立日野南小学校

ラグビーの精神 大空の心

副校長 福井 伸人

ラグビーワールドカップが日本で20日に開幕しました。決勝戦は横浜・日産スタジアムで行われます。ラグビーは「one for all all for one」といって「一人はみんなのために、みんなは一人のために」という精神を大切にします。チームで役割を分担し、素早く連携することが勝利につながります。ルールをしっかり守ることから紳士的なスポーツともいわれています。審判が見ていなくても、選手はいつもフェアプレーの精神をもっています。試合が終わることを、「ノーサイド」といいます。試合が終わったら、対戦していたチームが分け隔てなく互いに健闘を称え合います。こうしたラグビーの精神は、日野南小学校の「大空の心」と通じるものがあるように思います。9月20日の給食で、日本と対戦したロシアにちなんだメニューが出され、全家庭に「ぱくぱくだより ラグビー号外」が配付されました。ラグビーのルールや魅力がわかりやすく掲載されています。ぜひご家庭でご一読いただき、ラグビー観戦の参考にしていただければと思います。

さて、学校では、9月に体験学習がありました。5年生は9月12、13日に山梨県にある『甲斐の国大和自然学校』に行きました。「全力チャレンジ 仲間のきずな 笑顔の輪をつないで 楽しい思い出をつくろう」というスローガンに向け、全てのプログラムを行うことができました。ハイキングでは、グループで励まし合って全員が山道を歩ききることができました。キャンプファイヤーでは、実行委員が中心となり、全員が笑顔で大いに盛り上がりました。バスレクでも、実行委員が準備したゲームをみんなで協力したことで、全員楽しく過ごす姿がありました。そうした活動を通して、これまで以上に友達とのかかわりを深めることができました。

4年生は初めての宿泊体験学習で、「助け合いパワー 4年生」というスローガンのもと、9月17日、18日に栄区にある『上郷森の家』に宿泊しました。三崎のマグロ、三浦の農協、はまぎん子ども宇宙科学館にも見学に行きました。友達と一緒に風呂に入ったり、一緒の部屋で寝たり、もうそれだけでわくわくした様子でした。活動を楽しみながら、普段の学校生活以上に集団で行動するためには、一人ひとりが全体のことを考えて行動することが大切であることを随所で学びました。

どちらの宿泊体験学習も、実行委員を中心に「一人はみんなのために みんなは一人のために」準備を進めてきたので、だれもが楽しく活動できました。どちらの体験学習も大成功でした。中にはうまくいかないことや、失敗してしまったこともあったかもしれませんが、そうした体験も貴重です。どうしたらうまくいくか、失敗しないためにはどんな行動が必要だったのか考えることで次につながります。体験学習は「ノーサイド」です。互いに分け隔てなく、がんばったことを称え合い、これからの学校生活につなげていきます。